

労働組合権侵害とのたたかいー欧州の現状と経験

日時

11月30日（金）

14:00～17:30

場所

（入場無料！）

東京ガーデンパレス 天空（2階）

御茶ノ水駅徒歩5分 Tel03-3813-6211



緊縮財政攻撃とのたたかいを進める労働組合に対し、団体交渉権や協約の効力を否定する攻撃がギリシャなど一部の国であらわれています。今年のILO総会では、使用者グループが団結権、団交権を定めたILO87号条約にはスト権は含まれないという主張を展開し、総会基準委員会の審議が混乱するという深刻な事態が起きました。米国ではウィスコンシン州やオハイオ州など保守・共和党系の州知事が公務労働者の団体交渉権、団結権を制限する法改正を次々に行っています。このような攻撃は、IBMやJALのような解雇は資本の自由にしようとする乱暴な攻撃、大阪、社会保険庁解雇問題をはじめとする日本の公務員、公務員労働組合への攻撃ともつながる重要な問題です。

スト権、団結権などの労働基本権に関する欧州はじめ世界の動向について学び日本の運動の示唆としたいと思います。

基調講演

「労働基本権の現状と課題 欧州、国際的な角度から」

キース・ユーイング氏 ロンドン・キングスカレッジ教授



経歴

労働法、国際人権法の分野で国際的にも著名。専門は公法・欧州労働法。ケンブリッジ・トリニティーホール、豪メルボルン・モナシュ大学、アルバータ大学、ウェスタンオーストラリア大学などで教鞭をとる。国際労働組合権利センター副会長として、労働組合とともにコロンビアなど国際的にも労働組合の権利問題に取り組んでおられます。

主催

全労連 全労連公務部会

問い合わせ

東京都文京区湯島2-4-4 全労連国際局 TEL03-5842-5611